

# 鉄道総研の国際活動

(International Activities of RTRI)

## 【概要】

海外の研究機関・大学との共同研究や職員の派遣の支援、海外組織との交流・連携、訪問者等への対応を通じ、鉄道総研の世界的なプレゼンスの向上と日本の鉄道技術の国際展開を目指した活動を行っております。

## 【共同研究】

鉄道総研の研究レベルの向上を目的に、研究者を海外の研究機関、大学等に派遣し、共同研究の推進、情報収集を行っています。

### ・日仏共同研究

1995年よりフランス国鉄と共同研究を実施しています。集電技術等の分野で共同研究が行われております。成果報告会として共同研究セミナーを開催しており、今回は2016年9月に日本で開催予定です。

### ・日中韓共同研究

2001年より中国鉄道科学研究院、韓国鉄道技術研究院と共同研究を実施しています。共同研究セミナーを年に1度開催しています。最近では2015年7月に北京で中間会議を行いました。

### ・日英共同研究

2008年よりイギリスの鉄道安全標準化機構(RSSB)と共同研究を実施しています。主に安全評価等の分野について意見交換を実施しています。

### ・その他の共同研究

上記以外に、ケンブリッジ大学(イギリス)、ブリストル大学(イギリス)、ニューカッスル大学(イギリス)、マサチューセッツ工科大学(アメリカ)等の海外の大学とも共同研究を実施しています。



SNCFとの担当者会議の様子(2014年6月・日本)



日中韓共同研究セミナー(2014年11月・日本)

## 【国際会議】

鉄道に関する国際会議へ積極的に出展・参加し、情報の収集を行うとともに、職員による国際会議での論文発表等を支援しています。最近では2015年6月に東京で行われたUIC世界高速鉄道会議(UIC Highspeed2015)に出展・参加しました。

2016年5月には、イタリアのミラノで世界鉄道研究会議(WCRR 2016)が開催される予定です。WCRRは世界中の鉄道に関する研究者が一堂に会し、研究・開発成果を発表する会議で、鉄道総研も研究開発活動を紹介する予定です。



UIC Highspeed2015の鉄道総研展示ブース(東京)



WCRR 2013の会場の様子(オーストラリア)

## 【情報発信】

鉄道総研の紹介や研究開発の成果等を海外に広く発信するため、英文論文誌Quarterly Report、鉄道総研紹介パンフレット(英語)、最新の研究開発活動を紹介したニューズレター(英語)、鉄道総研の1年間の活動をまとめたアニュアルレポート(英語)を作成しています。

## 【その他】

### ＜外国人研究者・実習生の受入＞

共同研究やインターンシップとして、外国人研究者・実習生の受入れを行っています。最近では、航空自動車技術高等工業大学校(ESTACA)(フランス)、台湾鐵路管理局、マレーシア工科大学の留学生等を受け入れています。

### ＜外国人の鉄道総研見学対応＞

鉄道総研の研究開発を広く理解していただくことを目的に、外国人の鉄道総研見学を受け入れています。2014年度は、約330名の外国人訪問者の見学を、世界各地から受け入れました。



各種英文刊行物



フランス人実習生による発表



公益財団法人鉄道総合技術研究所  
国際業務部